

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

姫路市立こども発達支援センター

公表日

令和7年 2月 21日

利用児童数

2024年 11月 15日 回収数 3

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2	1		・具体的でわかりやすい支援方法をたくさん教えていただいた。 ・教えていただく言葉の中に時々分かりにくい表現があった。 ・尋ねられることの意図や内容について分かりにくい時があり、応え方が難しかったり求められていることと違う答えをしたりしてしまった。	・訪問内容の共有やアドバイスについては、訪問先の先生にとってわかりやすい伝え方を心がけていく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			・教諭とは違った視点から本児を見て助言していただくことが支援のヒントになりよかった。 ・具体例をあげて教えていただいたり実践されるのを見せてもらったのでよかった。	・具体例をあげるなど、先生方が実践しやすいようなアドバイスをしていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			・毎月変化する課題や困りごとの質問に対し、支援方法や理由等を教えていただけた。	・現場の先生方の困り感や子どもの行動理解を共有し、先生も子どもも安心して過ごせるよう支援していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			・子どもの思いを代弁するように話しをしてくださり、子どもの思いの汲み取り方がよくわかった。 ・少し落ち着いて学習に取り組めるようになりました。	・今後も引き続き先生方や子どもの困り感に寄り添いながら、支援を行っていく。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			・子どもに対する様々な支援の仕方を考える機会となりよかった。 ・保育の中で行き詰まり感を抱いてしまった時にアドバイスをいただき、前向きな気持ちを持つことができた。満足に思っている。 ・的確な助言や子どもの思いの読み取りに助けられることが多々あった。	・保育所等訪問支援事業の一番の目的である、集団生活の中での子どもの思いを知り、必要な支援をすることで、子どもも支援者も安心して過ごせるということを意識して、今後も支援にあたりたい。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
・行事の参加方法について助言していただき、無理なく課題にアプローチすることができました。 ・就学前の子供の様子を知っている方が訪問してくれたのでとても助かります。				・日常生活だけでなく、園や学校生活全体のサポートができるよう努める。 ・必ずしも個別担当者が訪問するわけではないが、ルネス内で情報共有しながら子どもの理解を深め、支援に繋げていけるよう努める。		